

# みんなで考える これからのまちづくり

市町村合併問題ニュース  
第3号  
平成16年4月

発行：下川町役場総務課行財政改革推進室 電話4-2511(内線224)

## アンケート結果 単独希望が7割を超える

町ではこれまで、市町村合併問題に関して、「住民懇談会」、「町民会議」、若者対象の「しゃべらん会」などを行い、情報提供や様々な意見などを伺ってきました。

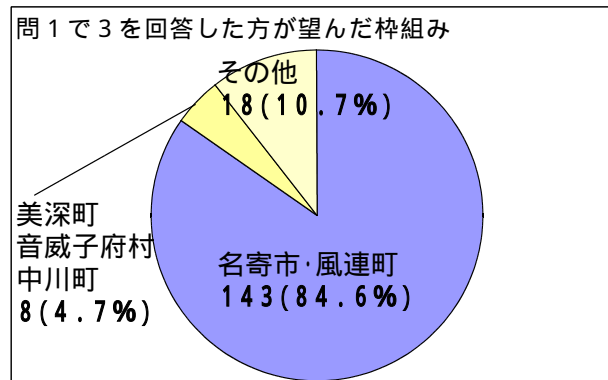
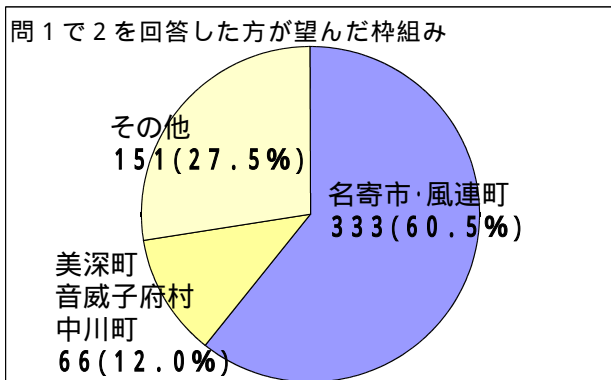
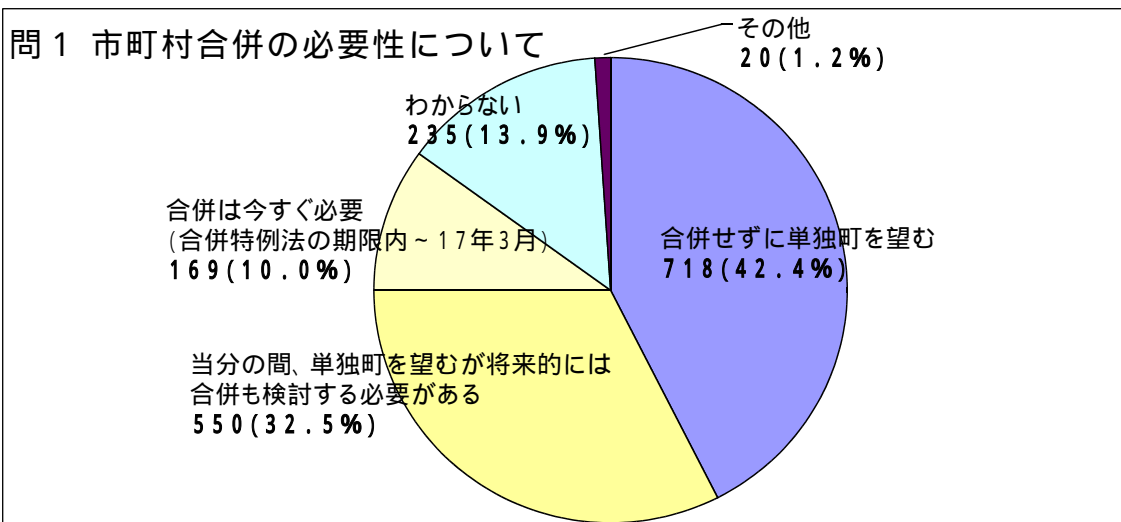
更に、町民の皆さんの考えを確認し、今後の下川町の進むべき方向を判断するため、「市町村合併問題に関する町民アンケート」を実施しました。

アンケートは、合併問題をご家族で話し合ってもらおうと、一世帯一枚とし、役場職員が、2月26日に配布及び3月2日から4日の間に回収を行いました。

5日に集計を行った結果、「単独」が、当分の間、「単独」を望む件数が7割を超えました。町長は、アンケート結果や議会特別委員会の方針、住民懇談会での意見など、これらの状況を総合的に判断し、3月15日の議会本会議の中で、「現行法内では合併せず」と、決意表明を行っております。(議会での決意表明の全文は、広報4月号に掲載)

### 市町村合併問題に関する町民アンケートの結果について

対象世帯数 1,881世帯  
回収世帯及び回収率 1,757世帯(93.4%)  
有効及び無効 有効1,692(96.3%) 無効65(3.7%)



# さまざまな意見寄せられる

町民アンケートの「問3」に、意見などの記載欄を設けました。『合併問題に関する意見』、『議会や行政に対する意見』、『まちづくりに対する意見』など450件を超える記述がありました。

これらの多くは、今後のまちづくりを進めるうえで、大変参考となる貴重なご意見であり、また、行政に対する批判も多く、この部分については真摯に受け止めなければならいと考えております。

なお、様々な意見などから、重複したものなどを除き、掲載させていただきます。

また、別紙として複数枚にわたる意見をお寄せいただいた方もいましたが、紙面の都合上、一部分を抜粋して掲載いたしました。



## 意見・要望

交付金が少なくなり大変でしょうが福祉面など小さなところに目が届いてくれるから。

単独町を望みます。合併する事により、他の市町との利害関係が生まれる可能性があると思われます。下川町独自で生きることにより町民、町出身者の心の豊かさが生まれると思えます。

町民がお互いに努力をして数年後には子供たちやみんなが住み良い町で生活できる良い町だと思える様になればと思えます。

下川町は材木の町、山林のすばらしいところ。他町村とは全然違うのでこのままで居たい。人口が少なくなるが、できるだけ町民全員で。

「たばこは町内で!!」という様な原点も必要ではないか?他町村にない取り組みをしてほしい。

声を出した人、意見を申しただけが民意でない。この

アンケートも単純すぎるくらいも在り。私たちも周りの人々も合併の良し悪しは解らないのが本当です。ただ、自立の方がと思うのが心情です。町民の声なき声を吸い上げる心がけを。いずれにしても行政改革はいつの時代もせねばならない。経費を少なくして無駄な公共事業はしない。仕事・事業の優先順位を正しく。合併の良し悪し、単独の良し悪しを説明の要あり。

Q & A式の説明もよし。小さくても希望を持って、顔見知り、仲良く一生懸命に努力すると必ずよりよくなるのが世の中。

下川の町は山林資源あり、スズキ自動車テストコース、サンルダム等、色々将来に向けてのビジョンがあるので単独で対応すべき。

合併しないとこの先いろいろな面で大変だと思いが、なんとか下川町のままでいてほしい。ただ子供のことを考えると、この先お金のことで子供自身に負担が増えるのであれば、合併も仕方ないのかなと思う。

名寄市に吸収されるような合併は反対します。先人の築いた下川町を大事にしたいと

思います。名寄市と対等な合併など有り得ないと思う。

長年築いた先輩の下川を最後まで続けていくのが我々住民のつとめだと思えますので下川町を単独で残して行きたいと思えます。町長様にはご苦労ですがよろしくお願いいたします。

単独・合併どの場合でもマインスマスが1番少ないものを選んでほしい。

小さな町のほうが何かとまとまりがあり平和な日々が過ごれると思えます。

詳しいことは良くわかりませんが合併してもメリットになることが少ないような気がします。特に名寄とは合併したくないです。税金が上がるというだけで・・・普段の生活に良い意味で変化はないような気が。何より「下川町」と言う名を残したいです。アイスクャンドルフェスティバル(ミュージアム)も下川のお祭りではなくなくなってしまふんでしょうか?(合併した場合)それもまたちょっと寂しいお話です。

今までの若い下川の人たちに頑張ってもらい、色々なアイデアを出して良い下川町にしてもらいたい。

下川町の独自の創造的なまちづくりを期待しています。自給自足の観念に基づき、下川町を実感できる財政運営を願う。

市町村合併をすると今までのような行政サービスが受けられなくなると思えますので合併には反対です。

合併しても財政は厳しい、小さい町づくりが健全だと思え、まして名寄、風連、財政苦メリットはない・・・町民が一丸となって英知をかり地道な町づくりを考えたいところです。西興部のように元気で行く。

合併後の将来展望が全く見えない現時点では単独しかない。単独シミュレーションによる。町長が言うように合併するもしないも地獄であるとするならば、これからも論議を続けることで町民の自治意識が高まり、厳しい状況にも対応できると思われる。

今回の合併問題は財政上の面上が強調され全国標準化の様相で北海道の特異性が一望だじされず遺憾である。また反面、近隣市町村共に類似点を追いつき独自性を失った事が問題もある。(反省すべき点)行政のスリム化と住民意

識の改善を求めるべきだろう。

難しい事はわかりませんが下川で生まれ育ってきて合併は寂しいです。このまま単独町を望みます。

もしも、将来合併せずにはいられなくなつたとしたら、吸収合併だけは避けてもらいたい。

下川の森林等の財産を単独町として今後活用してほしい。

町民がみな力を合わせて行けば合併はしなくても良いと考えます。

合併することによって、すべてが中心部に吸収され将来小さい町ほど取り残されると共にすべてが不便になると思います。

町には資産があること（森林など）を町民に公開するべき。質素な町でもいいじゃないか？

将来合併を考えなければならぬとすれば西興部、雄武、または朝日町。しかし単独で日本一の幸福な「まち」づくりを望みます。

100年有余の歴史を踏まえて、可能な限りの対策をとり、故郷下川を維持してもらいたい。この決断が将来にお

いて光明を見出すかもしれないと思います。

自然豊かな下川町が寂れてしまふなんて悲しいことです。苦しいときは励ましあい、合併せずに皆でがんばって行きたいと思います。

市町村合併は、今はまだすぐにしなくても良い。まだ考えることです。下川町で暮らせるように考えることを時間をかけて下川を見直してください。合併したところで下川が良くならないと思います。

町の将来を考えると相当厳しい行政かと思われるが交付税等を有効に使って町の活性化に努力してほしい。森林のまち、アイスクャンドル発祥の地、万里の長城、酪農のま

ちの誇りを持って。町独自のビジョンを作成して安心に暮らせる元気な町づくりに励んでください。

他市町村から見ても下川は活気のある町だと言われている。親戚などが来て観光、森、イベント等下川に案内する・・・という。今回の単独をバネに町民全員で頑張りましょう。

遅いけど朝日町との合併を考えてほしかったです。単独町にあたっては、国や

道をあてにすることなく、下川町独自で運営出来る様、見直し努力して頂きたい。

国全体の役所を減らし、公務員などコストを下げ赤字を下げたいのは解るし、財政がとんでもない事になっているのも解る。が、今までの下川のみなさん（議員さんや、役場の方々、その他地方自治体

の方々）が、頑張ってきたこととかが、名寄市との合併ですべてムダになる気がしてとても心配です。小さいながらも、少ない予算の中でも努力して来たことが、はたして名寄市の市長、議員、役員は理解できるだろうか？

今までの、名寄市役場職員、議員、市民の行動、言動を見たところ、身内のことばかり気にし自分の幸福や、職場やお金や損得ばかりで仕事が増えることにすごく嫌がる人たちに、どこまで歩み寄れるのか？

その前に、今名寄は病院の経営が難しくなるはず。大学四年へも無理になつてくる。そこへ急いで合併したいのは名寄の方で今一步、下川町は決定を見送らせて周りの市町村の動きを見極めるのが一番賢い方法でないか。リスクを負うのは承知の上で。

今後強制合併になつたとしても、名寄市とでなく、下川と似たような町（林業で盛んな町 西興部等）と合併を考えたいほうが良いと思つた。

私たちには将来の事が（若い人達の世の事は）わからないので今の答えより浮かばない。

10年の飴に惑わされることなく百年の計を樹てられる様望みます。

単独で行くのはそれは厳しいことでしょうが、それをみんなが共有し、知恵を出し合い特性のある町づくりで生き残りたい。

詳しいことはわからないが、財政が厳しくても町民一人一人が生き生きと生活できる町になるならば合併しても、しなくてもどちらでも良いと思つても個人的には単独を望みます。

財源的なことばかりでなく、具体的な町民が受けられる、受けられないサービスなどの説明がほしい。

合併した場合に職場の問題など色々大変だと思つています。私は今のままでいいと思

います。下川町が合併せずに単独でいければ幸いに思いますが、

よろしく願います。

合併によって大切な森林の管理が十分に手を加えられないと考える。植林して50年（60年で伐採が出来るか、続けられるか。議会は名寄中心となり、議員数3名では下川町全般の町民の声が反映されないと思つた。道路の維持、管理（改良等含む）も向上しないと考えられます。ただ心配なことは、時の流れ、政府の動向によって、また、下川町として合併の必要な時に他の市町村で受け入れてくれるかどうかである。

風連町が下川町と合併を真剣に考えるならばとも考えます。

財政的には大変だと思つています。しかし国が進める合併は、あまりに短絡的、道州も同じだと思つた。昔滝川と合併した江部乙のようになりたくないし、また合併となると名寄が必ずからんで来ると思つた、下川が苦勞して築いた山林財産を取られるようなことはしたくない。合併により下川が本當に得をするか、特例で喜ぶのは名寄だけと思つた。

地方が自立できなければ国の再生も出来ないのではないかと思つた。下川町は百年の歴

史の中で培われた知恵と誇りを捨てず真の自立を目指し五十年後、百年後の未来図を示しこの地に生きる子孫の為に苦しくともそれに耐え、この地に無形の遺産をつくっていくのが、この平和な国の再生につながるそれが私達の使命と考える。

下川町独自の経済・文化を大切にしながら良い。下川町は活気のある町だと思いません。

子供たちの意見なども取り入れたら良いと思います。

人口の少ない町であるが、何事にも町民一丸となって頑張っている町。町の良い所も沢山あります。町も苦しいかも知れませんが、もう少し若い人の仕事場を考えて頂いて、下川町の名を無くしたくない。

下川には独自の魅力がありユニークな発想を全町民一丸となり知恵を出し合って努力しようと考えます。

山があるという話の中で将来本当に財政難にならないのか、また、合併しないで財政難になった時、下川の場合高齢者が多いので、税金などが上がるようなことになると、また、町民も困ると思う。正

直な所わからないというのが一番の実感です。

合併しても今まで以上に、行政、町職員、町民、地域市町村とのつながりを強く持つことが大切と思う。

協働のマネジメント 役割分担してステキな町づくりを。もりと人 ひとりひとりが輝く町を。

どこの市町村もあまり変わらない。色々なことで下川町は発展性があり、町民も昔ながらの想いが今の若者にも充分にあると思う。

財政の厳しい自治体同士が合併しても、何も改善されません。周りの大きい市が財政難で苦しんでいるのを見ればわかると思います。目の行き届く自治と地域を愛する住民の意識を捨てないでほしい。住民、自治体共に敵しさを乗り越え下川町の開拓者精神を次世代へ継承してゆきましょう。がんばれ下川町。

合併するメリットって何。将来的にどうなるかは誰もわからないし不安もいっぱいだが、現行法で急いで結論を出す必要はまるで無いと思う。しないことによるペナルティもないというし、今まで築いてきた町の財産を大事に守

り、当然、何かと甘えてきた町民も色々な使用料を有料にしたり、全てで我慢すること絶対が必要。一極集中なんてとんでもない話。しなくても小さくなる。したらもつと小さくなる。単独でがんばっていきたく考えます。ただ、アンケートで“合併必要”の意見がもし多かつたら大変。アンケートがよいのか、よくないのか。

下川らしさを保つ、または、のばしていくには様々な困難があるが単独の方がより良いと感じる。

合併すれば良いこともあつてのことと思う。しかし下川町は今より一層寂しくなってしまう可能性がある。

森林と人が輝く下川町は絶対に単独で行くべきだと思う。10年後にはみんなが森林や自然の大切さに気づき、今よりももつともつと若い人が集まってくると思います。合併するのなら興部や西興部が良いです。

このままの下川であつてほしいと思つています。市になつたからといって何か変わる可言えるのかわからないからです。お年寄りのことを考えると色々都合が悪くはないで

しょうか。

地方交付税が削減される中、今後の財政がどこまで続けられるか。人口減ちなみに農家の後継者不足と環境が変化、また、農連が40年の歴史に幕（財政難）など聞かされる中、この先不安な気持ちです（下川町民がなぶるのみ）

情報からは今は合併せず単独で町を維持する道を選ぶべきと考えます。後悔するより、今できる努力を町民の総力で下川町を後世へ残したいの思いが強い。私だけでは無いと思います。下川が好きだから。

下川町の場合は名寄と合併すれば、予算が名寄に集中して組まれるような感じ。道路や他の件についても遅れていて下川も大変だと思つても今後は人々が減つて行くと思つ。その時に考えなければと思います。

赤字の市町村が合併しても意味がないように思える。合併に伴い税金などの値上げが予想されるため。

町民の声も大事なことだが、ある時期には行政のブロ（役場）としての方向付けも必要かと思つ。一般町民には難しい。

もし、合併する場合に特に下記3項を重点に協議すること 対等の立場で協議する新設合併方式 新市の名称は3市町の名称を残すことを基本にすること。新市の建設計画は旧自治体の総合計画を尊重すること。

現在の自治体の経済状況を見るに、合併により財産（町有林）を共有することがどうかと思つ。町単独でやれるなら小さいながらも一致団結して続けてはどうか。将来的にはその時考えればよい。

新法の中でじっくり検討し、夢のない合併はしない。（合併するなら対等合併で） 小さな町ならではの小回りのきく行政があるということは大切なことだと思つ。なるべくなら単独で、独自路線で進んでみてはと思つ。が・・大変だとは思つ。が。

合併新法の内容を十分検討の上、悔いのないよう決定すべきと思つ。

下川町の姿を子々孫々まで引き継ぎたい気持ちは町民みんなが望むことと思つ。しかしながら、少子高齢化の進行、行財政の問題等々を考えると、当面、町単独で進める

としても、将来的には合併もやむを得ないのではないでしようか。合併するにしても、

下川町が地域として自治できるように、今回名寄市から示された合併条件を、さらに協議を重ねて将来的に憂いを残すことのないような合併条件とすること。法律もまだ流動的でわからない面もありますが、糞尿、ごみ等の衛生組織、消防事務組合、農協等の構成市町村も現状では、バラバラでありこれらを含め統一のとれた合併とならないか、検討する余地もあると思いません。

国の経済援助も限りがあると思うので、切られるその前に合併してもいいと思うが、自立していけるなら、ふるさとの町下川町の名前を残していきたい。

今後、将来を長い目で見据えて、井の中の蛙様にならぬよう世界を広く見て欲しい。明治以降の移り変わり、時代の波に乗って進んでいくのが宿命であると思う。

単独町の場合、医療機関が特に気になる所です。

近隣に合併行政見本的なところがないので単独、合併の良し悪しいがわからない状況

が全町民の考えだと思えますので、説明を聞いても全然暗い思いです。

風連、下川を名寄のベッタウンとする。

難しいこととは思いますが、みんなの知恵を出し合い前向きに前進することが良いと思います。国の財政が厳しい(市町村にも)

新聞によると3/3に3市町の話し合いがあるようですが、このアンケートの結果が出る前に結論めいたことを話し合わないで欲しい。

このような簡易なアンケートではなく、町の将来を決める重要なことは、住民一人一人の投票で決するべきではないですか。

下川町が今後の協議で納得できる状態でなければ単独町を望む。

合併特例法に逆らわないほうが良いのですが、今回は、全道の町、所々の町が反対だ。メリットがない。

いずれ合併を考えなければならぬ状況が出てくる可能性はあると思うので、その時点で合併の相手方と話し合いができ、吸収合併とならないよう、今のうちに整理しておきましょう望みます。

地域としては名寄、風連が理想と思うが、意志に差がある場合は美深、音威子府、中川とすべきだ。

今回の町村合併は中央政府の地方公務員リストラ策と見れば見えぬこともない。下川町にとつて合併が必要だとも思えない。パブルのツケの尻ぬぐいを市町村合併に持って行くこととするやり方はあまりにも安易だ。地方公務員もまた消費者であり、その人員を削減すれば社会経済に大きな悪影響を及ぼすのではないだろうか。私は公務員ではないが合併には反対である。

今までの下川町で良いと思えます。合併することでその後のが見えてきませんので。

対等合併でできるよう努力してください。将来的にも(17年には間に合わぬが)合併すべき。

生活圏としては合併は必要。経済圏としてはもう少し時間をかけた方がよい。

家族の中での話し合いの中で一応「問1」を選択しましたが、「問1」の意見も出ました。懇談会の説明会の中で、現段階では単独町であつても「財政的ペナルテ

イや行政区変更的な知事からの強制的な勧告や斡旋」はないとの説明を聞きました。合併問題浮上以来、合併条件が緩和されてきたかに見受けられますが、進展しない合併に政府が当初案以上の強攻策を打ち出す可能性が心配されます。一家に対しアンケート用紙が1枚というのは意見が分かれたときには個々の意見にならないと思う。現在はある程度長期的見通しで単独町を保ち続けられる見通しがあったとしても、過去の人口減の経緯から、10年20年後には半減するのではないか、その時点で吸収合併の憂き目を防ぐためにも、先んじて合併協議会を他市町村に呼びかけ有利な町資源を背景に優位な合併を実現してはいかかと思

います。

合併してもしなくても、下川町にとつて厳しい時代になつていくと思う。やはり過疎化していることが一番の問題だと思う。今まで行っている特色ある町づくりでいいのだろうか。合併の有無にかかわらず今より条件は悪くなりそうな気がする。魅力あるまちづくりをするために役場だけに頼らない住民による活動が

必要になると思ひ、それを助けていく役場としての活動が今まで以上に必要になる。急がずに慎重に検討する必要があると思う。アンケートは一人に一枚ずつ配布するべきだと思う。

時代の流れからいつて一つの町としてやりくりして行ける状況ではないと思う。特に財政に関しては無理ではないでしようか。

もし下川町が合併したら今までの築き上げてきた実績がうすくならないでしようか。

今までに下川町が行ってきた事業及び財産を失わないこと。下川カラーの存続と存在感を主張できる合併を希望する。それには議員及び役職を持つ職員をできるだけ多く確保すること。

単独にこしたことはないが、町の置かれている現状、町の将来性、住民サービス、生活圏を考えた場合、合併は避けて通れないと考える。自治権をどう確保するかが課題である。

下川町の場合、高齢者が多い(どこも同じと思う)これからの若い人達のことを真剣に考える最後の時と思う。合併すべきである。

現在の下川町は、町全体が独自の発想またはユニークな内容のあるイベントが画期的に実施され活気を帯びており、基本的には「単独が希望」だが、町民会議など他市町の推移を見ても、合併新法にはまだ不明瞭な段階があるように思われる。特に政治的（財政等を含め）というものは生き物。現在の意見である。

下川町のまちづくりを役場だけではなく、町民にも参加してもらおう。また、そう自覚してもらおうが必要だと思う。より多くの町民の意見を聞くためにアンケートを一家に一枚ではなく、二十歳以上全ての町民を対象にするべきだったと思う。

国の財政事情から単独町でもいろいろの方策を考えておく必要があると思う。

スキーの選手やアイスキャンドルの名で知られている下川町の名が消えることは寂しいからです。

将来的には合併も必要と思うが、現時点での名寄が提案している項目を考えたとき一極集中的なものであり疑問を感じる。町が合併してもさびれることのない身近な行政を大事にした地域分散型の合併

を考慮する必要がある。

合併の成否はともかく、名寄、風連との連携が必要な項目については、是非強化していくことが必要と思います。なお、問1の回答は現時点の気持ちが入っているものであり、情勢が風雲急を要する場合は直ちに検討に入るべきだと思います。

どこの地区でも緊縮財源の中で、下川町として住んで良かったなあと思われる町づくりを要望致します。

意見ではないが、福祉の面で下川のきめ細かい介護やケアなどが合併によって事務的で冷たい感じのものにはならないだろうか。

将来合併をせざるを得ないことを充分考慮した町創りを進める。自然環境及び住環境を重点に現在の政策を継続する。

農協がすでに合併（北はるか）しているので行政と農協が別々になることは好ましくない。町民と農民が安心して生活できるよう、町政には今以上にがんばってもらいたい。

合併について短期間に決めるのではなく、なるべく多くの意見を取り入れて欲しい。

話し合いを多く持って欲しい。

農業の立場から見るとJAと行政が別の市町村は何かと都合の悪い点が多いと思う。

当面単独は良いとしても、行けるときまで行くのではなく合併は相手もあることであるから、時期を見て合併に向けて取り組むべきと思う。

単独で生き残っていくことが良いのかもしれないけど、後になって「あのとき合併しておけば良かった」と言うこととに後でならないように考えて進めて欲しいと願っています。

当町の姿をそのまま、これからも当町独自のイメージ作りをした方が良いと思われる。

温度差の少ない町村合併を望むが吸収型は駄目、当分は単独で耐えていくこと。

国の財務がないから町に交付金が少なくなるのは当たり前だが、小さな町でも色々考える等すると生きられるようなことがある。今こそまちづくりをみんなで見直しをする機会です。

住民自治を進め、役場を小さな政府（役場）にして欲しい。民業を活発にして欲しい。

国の財源不足で解らないこととはないが、北海道212市町村で合併が進まないのは国の方針があまりないからではないか。当分の間、町民が痛みを分かち合う時代が続くと思うし自立の道を探るしかないのでは。

これまでの考え方、やり方では単独で行こうと、合併しようと思いません。自分たちがどのような生活を望んでいて、そのためには何が必要なのかを一人一人が考えていかなければ何も変わらなずどちらに転んでも同じ結果だと思えます。

合併するかしないかで最終することなく、みんなが考えたり意識を変えられるような機会が増えていくことを期待しています。今後もよろしくお願ひします。毎夜の懇談会、会議お疲れ様です。

名寄市が提出した合併の基本条件には失望した、周辺町村の苦しみがわかっていない。リーダーシップの資質がないと言わざるを得ない。こちらから条件を出すべきである。なぜ名寄抜きで任意協議会が始まったのかの5町村の危惧を少しも理解していないのがあらわになった。将来的

に「単独町村連絡会」などを結成して、単独を選択した町村が不当な扱いを受けることのないように国に意見を述べてもらいたい。

町民説明会に置いて、名寄市に対する批判的な意見が多く聞かれたが、もつと良い面も町民が考えながら検討すべきであった。感情的にならず将来を見据えた方向に。

単独町を望むが少子化、高齢化、人口減少などを考える。将来的には合併も検討する必要があると思う。

下川町民になってやっと一年です。近隣の町もよく理解していませんが、今合併する時期なのか疑問です。西興部のように単独という所もあるようです。木材の原材料を出すだけではなく、製品としての供給を考えたらどうでしょうか。

下川町民の選抜した町長、町議（議会）の方々の最後決断。町民はそれに向かって全力を尽くす。

住民投票したらいい合併するにしても、メリット、デメリットがあり、住民が色々な面で負担にならないようにしてもらいたい。財政が苦しい市や町は避け

るべき。人から聞いた話ですが、ここ数年が一番苦しい時、この時期を乗り越えたなら単独町でやっていけるのかなとも考えますが甘いのかな。ジャンプやダム、森林資源等、朝日と共通する点は多いと思います。

まだまだ下川は大丈夫だと思います。公務員の人口比率（家族を含めて）が半分を超えたら自治体として考えるべきだと思います。民間の活力が生き、若い人がたくさん町になるといいと思います。合併は地続きで行うべきだと思います。

この時期に方向性を出すのは良いことと思う。後は町民総意による努力しかない。名寄市とは合併してほしくない。

ずっと単独で行ければ本当はいいですが、子供たちのことを考えると単独は不安です。

将来もし合併する町村を考えれば美深町と合併を希望します。音威子府村、中川町はあまり距離が離れすぎておりません。また名寄市風連町との合併は農協合併問題で合併は反対です。

何れ合併の時が来ると思う

が、今、慎重に対処すべきと思う。行政の合併は経済団体との合併とはちがうのでないか。

未来の子供たちのことを考えてやってみることはやり、だめな時はやめる方向を望んでいます。

風連町（稲作）の町と下川町（山林）の町共に財産が生かされると思う。何年か後に豊かな生活ができると思う。10年後のシミュレーション

考えて、町民の負債がなくなつてから合併しても良い。下川町にとつて将来が明るくなる選択を。また未来を担う子供たちがのびのび生活できる選択を希望します。（皆様ご苦労様です。よろしくお願い致します）

合併以前に抱えている問題が山積みなのではないか。それに向けての町民の意識改革が必要。

もう少し少人数の会合にも役場職員1人、2人でも来て合併問題の話し合いをして欲しかったです。（老人クラブ、婦人会、町内会の集まり等）

町民の多くはよくわからない人がいます。よくわからないのになんと書くんですか。合併するにしても単独にし

ても、地域としての“下川らしさ”を残したい。下川町には住民に活力があるので、財政的な問題がクリアされているなら単独の方が良いと思う。下川なら町民の協力も得られるのでは。将来的に合併の必要があれば、その時のベストな道を探ればよい。町外からも夢を持って移住してくるような魅力ある町なので、その魅力を消さないことが町の将来につながると思う。

悔いを残さないためもう一度名寄とのテーブルにつき、それで納得できない場合なら、町民の理解を得られると思います。

将来的には合併を考えざるを得ないと思う。それならばなるべく早く合併する方が良いでしょう。

5、10年間程度なら単独町で存続できると思いますが、長期的に見ると単独町での存続に限界が生じると思うので、その時になって不利な条件で合併するより、対等な立場で協議できる今のうちに、合併の対象となる市、町と十分協議して頂きたいと思えます。

合併したら民間でできることは、民間でやり、職員を減

らすことが望ましい。

住民が生活しやすい町づくり、環境が第一であると思えます。中央（東京）の価値観で全国を支配するような考えも実情に合わない。その地域（町村）に住む人間にとつて住み良い町、地域こそが大事なことです。しかし、現実には合併を推進しない場合、大幅な地方交付税の削減があり、住民生活にもシワ寄せがきます。それを補う下川町のプラ

ンが示されない中でアンケートにも若干問題があります。例えば町議員の定数削減、町職員の削減、幹部の給料カット等、また、下川町のインフラ整備はどの程度終えているのか。法人税、固定資産税の見込みはあるのでしょうか。私は地域的に工場誘致は難しい面があると思います。何年もしないうちに、やはり合併の選択をするのなら、今こそ議論を尽くし下川町にとつて最良の道を目指すべきだと思います。

合併しなければならぬ状態になってからでは対等合併が出来なく、旧合併の智恵文、上士別、温根別のように下川もなるのではないかと思う。合併協議の実施できる時期が

得策だと思う。

名寄市から提案された10項目の内容は、下川町民にとつて不満ではあるが、名寄市はこの案以外、他町の意見を聞くことはないのだろうか。合併は互いの市町の歩み寄りにより実現されるものと思う。下川町としても名寄に前回の6市町村協議9項目の遵守を迫るよう働きかけたい。（対等合併を前提に）

下川町に将来的に見て明るいものは見えません。最悪な状態になる前に早めに合併を考えて前向きに計画を進めた方がいいと思います。

町、議会は単独を望んでいるようだが、将来の展望があると思えない。このままでは過疎になってしまう。殆どを依存財源で賄われている町財政で、制約を求められる中での町単独は、行政経費の効率からして投資経費に充てるものがなくなるであろう。我々住民は専門的なことは知らない。資料もない。町長は私心を捨てて方向性を示してほしい。

木材が基幹産業であるなら先が見えている。財源が乏しくなれば町民1人1人にかかると税の負担が増すばかり一刻

も早く合併し町民の幸せを模索検討すべきと思つ。

多くの町民の痛みをできるだけ和らげるために、今は合併に向けて最大限の努力を必要があると思つ。

少子高齢化の進行が意外に早く、且つ地方交付税の削減で、町財政の維持が困難と思われる。町民サービス低下が懸念されるが、最小限に抑えていただき、合併やむを得ないと考える。

本来ならば当分単独で行くべきであるが、このままでは数年しかもたない(後になると吸収される)。それならば、今から条件を出して合併を進めた方が良くはないか。

期限内に名寄市、風連町と話し合い、合併すべきと思つ。将来的に不安だから合併は今すぐ必要。

単独では無理だと思つ。どうせ合併しなくてはならないなら、今きちんとした形で納得のいくように合併する市町村と話し合うべきだと思つ。これからの若い人達の将来が心配です。

合併するもしないも生活圏はずでに名寄に移っていると思つ。食料、衣料、娯楽、特に医療は全てが名寄です。

近い時期に学校(高校)も名寄になるでしょう。かなりの人が名寄に流出しています。そんな現実生活の中で、名寄を外しての合併は考えられないと思つ。

永久に単独でやれるとは思われない。将来的に合併するといつても相手があるのか。その場合、下川の言い分が通るのか、対等合併は無理だと思つ。それなら今合併した方が下川町にとつても良いと思つ。

これから先、人口が少なくなつていくと思つ。そういつた時、合併が必要になると思つ。将来的に合併が必要であれば、期限内に合併した方が有利だと思つ。よく名寄市の借金のこと言われるが、これから借金を返していく人の年齢(例えば60歳以下とか)人口で、全額を割れば、1人あたりの借金額は下川町も名寄市とたいして変わらないと思つ。

できれば単独を望みたい気持ちはあるが、将来のことを考えると単独は怖い。合併は今すぐ必要だと思つ。

名寄市、風連町と先に合併をし、将来、美深町、音威子府村等との合併を考えるべき

と思つ。先に農協合併をしました。間に名寄市を挟んだ合併はやはり不便を感じています。

時代の流れは小さな地域の考えを許さない流れのような気がします。国の方針に沿った流れで考えると、期限内合併を考えると、地域の発展はサービスの力が大いと思つますが、地方に依存、この流れ世代と共に強まるのではないのでしょうか。大きな組織で世代の活躍に希望を。

現在の国の施策、方向性を考えたとき、農業経営にしても法人化、大型化の方向にあり、各種団体、企業にしても合併の方向に進んでいます。仮に単独町で進むにしても、将来的に考えて、子供達、若者達にとつても、下川町に移住する人はほとんどいなくなり、現在の西興部村のように、山、林業だけの町になり、住民の少ない過疎の町になつてしまふように思つ。確かに下川町の林業はすばらしいものがあるが、林業だけでは無理があり、農業をやっている者として、生き残つていくことを考えたときに、道北地区で知名度のある名寄、風連との合併が望ましいと思つ。

また、JAが昨年より合併したが、耕作農家にとつて、名寄、風連と合併しなかつたことは残念であり、現況では酪農合併のようで、耕作農家としては、市町村合併では特に名寄、風連を望みます。また、合併時期ですが、確かに当分の間、単独町で、将来的に合併が望ましく思つが、その時は完全に吸収合併になつてしまつます。5、10年間は単独の方がシミュレーションでやつていけるように説明がありました。町有林の評価が高すぎるように思つます。木材の価格も将来性があるように思つません。やはり本音は先人が築いてくれた下川町を無くすのは忍びないのですが、国が施策した合併特例法の期限内の条件が良いときに、思い切つて合併すべきではないでしょうか。国の締め付けは益々厳しくなるように考えます。

単独町ではどんなメリットがあるか、合併ではどんなメリット又はデメリットか、町民全体が分かるような資料を全戸に配布してください。

合併後のランドデザインは描かれてないので、どうでしょうか?もつと地域が仲良く話

ができないのでしょうか?地域が手をつなぐことを目指していただきたいです。

既得権益に直接左右する方達の間での合併議論は無意味。5年後には吸収合併せざるを得ない。

合併しなければ中央の行政から取り残されるのではないかと。町民説明会での役場の対応が、非常に単独色が強いが、再度、合併と単独の2つの選択肢での協議しては。住民投票という手段はないのか?

若者の雇用場が少なく、人口も減少の一途をたどり、更に高齢化が進み将来においても明るい兆しが見えない中、合併せざるを得ないと思つ。

下川という町がなくなるのは寂しいが、ずっと単独ではいけないと思つので、期限内にする方が良く。

単独の場合、住民サービスをどこまで縮小するのか、私たちが我慢しなければならぬのか明確にしてください。

合併問題は決して避けて通れない問題である。それならば条件の良い間に、また痛みの少ない間に行くべきで、先延ばしにするべきではない。単独町を行った場合、将来



は吸収合併される。吸収された場合、人口の流出は避けられないと思う。企業の倒産も多くなる可能性あり。町の財政はまだまだ厳しくなり、税率アップは避けられない。職員員の半減もあり得る。

将来に惨めな合併がないようによく考えてほしい。私たちの将来のことを考えたとき、上の合併が望ましいか、商工会の形はどうなのかな

合併はできるときにしておいた方がよいと思う、後からは吸収されてしまう。名寄、風連とでは、名寄市に吸収されてしまう感じがするよ下川町の場所は名寄市とつながるのが本当は良いのだが

国の政策に逆行し単独町でやっていけるメリットはあるのでしょうか？2月27日道財政破綻のTVを見ました。合併を進めなければ国からの地方交付税が少なくなるので、道民として、下川町民としてとても危機感を感じています。今の状況を考えるより下川はどうなるのか考えて欲しいと思います。高速道路がもしも稚内までつながれば、下川の地にわざわざ足を向ける人がどの位いるのだろうか？観光で町が潤うとは思えませ

ん。年老いた方々の福祉等、お金が大切になるでしょう。また、これから若い人達がこの地に住み続けることのできる生き残りの道を選ぶべきだと思います。このアンケートを1件1件配り、回収する職員の方皆さん、ご苦労様です。

ダム観光化、スズキのテスココース、町有林をたくさん持つている。他町村より裕福と考えすぎなのではないかと思う。この何年も新しいこと何一つ出来ず残念に思う。町民の立場で何事も考えるべきである。アンケートは個人でとるべきものです。

上川北部全体での自治活動が必要では。下川町だけが単独で行くのは難しいのでは。財政的にも難しいものがあると思います。行政の全体的なスリム化が必要では。下川町だけでは、残るのは無理と思う。他の自治体と共に生きていくことが必要。

人口の少ない下川町です。その中で嫌でも合併も仕方ないことと思っておりますが、私達には何ともいえませんが、上の人や役員さんに期待しています。

高度な行政の判断は、私共には分からない、知らない部

分が多々あると考えます。担当者には熟慮して検討いただき、迷う事なき洞察力をもつて、良き判断をお願いする者であります。

町長のお話を聞いて、合併せず単独町が良いのだなと思つたが、20歳の息子が、今合併しておかないと数年後が数十年後にペナルティが国からあるのではと、心配している。

どうすることがこの地域にとって一番良いのか、現段階では見えてこない。合併を前提とした話ではなく、10年後、50年後を考えて欲しい。

すぐに合併するのが良いかは分からないけど、合併することによって得、利益とかがあるなら、した方がいいと思う。

行政区域がどこで区切られても、住民の生活に影響はほとんどないように思う。地域としての特色を出した土地づくりの方が行政区域より魅力的。財政難という言葉と町行政の経営は矛盾しているのでは？人件費削減のための合併なら積極的にするべき。

合併についていけるかどうか、もう老人の家庭が多いので、年寄りばかりでは何も分からない難しいことばかりに

なるのが嫌です。これも世の移り代わりで逆らうことはできないと思うが、これから、足取り手取りの協力を願います。

合併すると地域の特性が失われて、単独で行政サービス面で不安が残ると思う。

まだまだ検討の余地有りと思われます。合併するしないにしても、メリット、デメリットを考えられるだけ列記できるかできないかを町民と会話してほしいと思います。

もし、名寄市と合併することになった時、福祉や教育の質が落ちないように思いますが。現在の下川町に、これらの可能性を含めて満足していません。夢と希望の膨らむ町だと思えます。それが損なわれることのないようであれば良いと思います。

難しい問題も含まれていますが、住民に対し説得力のある努力を下さることをお願いします。

合併を推進するならば、町民に合併後のメリット、デメリットを明確に示してほしい。合併問題資料等を見ても、合併しても不安、合併しなくても不安で話が進んでいな

い。詳細まで今すぐ決定させる必要が、今は無いような気がする。合併の賛否を町民に問うのであれば、住民投票が合理的。また、結果が出てから住民懇談会を開いた方が問題が解決しやすい。

分からないと無責任のようになってしまうので、どうしても合併しなければならぬ事態になれば、致し方ないでしょうけれど。時の流れというものもあると思いますので、慌ててしなくても良いと思うのですが？それも中身が分からないので、答えられません。ゴメンナサイ。ある言葉に「落ち着いて着実に物事を微笑みを持って行いましょう」。これからもよろしくお願いします。

交付金がもらえなければ、町財政が破綻してしまうという理由が分かりません。過疎化を抑えるためや、町民の要望としての箱物行政を求めるのであれば合併も必要ですが、自然体で自立できるのであれば、単独町でいいのではないかと。

町民の主体性、町職員の間での協働性、取組の独自性などを考えると、下川町は名寄市などと合併することで、

没個性化などのデメリットは大きいと思う。ただし、今後、この地域の人口で、行政を維持することのコストはあまりにも大きいと考えている。この2つをどうして解決するかが、今後の大きな問題とと思います。他の町村に遅れて「併合」されることのデメリットも考えられるので、タイムミングについても要検討と考えます。

どの方法であつても、下川町の農業、産業、官庁等の維持を望む者です。

時代の要請の背後について臆を噛む思いです。町長が決定するしかない。

合併後のことがよく分からない。色々な説明がないため、合併して良いのか悪いのか分からない。もつと合併について役場としてよく説明してほしい。

他市町村の財政状況が理解しておらず、判断に難しいです。首長にお任せします。

説明会の時に、下川町単独の財務内容のシミュレーションを見せて頂いたのですが、合併しても最初は財務状態がプラスでしたが、長いスパンで考えたら合併してもそんなに大きいメリットが下川町に

あるのか、心配な一面もありましたので、当分は単独で進んでみて、将来的にいい時期がきたら検討しては。

国に振り回されることはない。本当に本町して必要性がある場合、に十分検討して決めればよい。

新法を見据えながらの合併を積極的に進める。

新法の時限立法により独自に基本原則を策定議論すべきである。

後に引き延ばして追い立てるようにせつば詰まると合併するより、対等条件でできるうちに合併して、早期に町民の満足のできる体制を作った方が良いのではないか。かといって、すぐ合併しろというのではなくきちんと議論をかける必要もあると思う。

単独を当分望んだ場合、合併を望んだ場合、受け入れてくれる所があるのか？という疑問がある。合併せずに単独を選んだ場合、人口が減る中、町はどのようになるのか？という不安がある。複雑です。老人が増える中、どうなるのかという不安。

名寄とは反対（名短四大化で住民負担があるはず）。智恵文を考えると、やがて下川

も智恵文化（埋没）する。どうせ合併するのであれば、管内を考えるだけでなく西興部、興部、雄武など、もつと広域で考えてみては。その方が今までの下川の特長を残せるのでは。

美深、音威子府、中川との合併で我が町の望む地方色を有利な形で出せることと思いませんので是非進めてください。

政府の合併推進は財政改革が目的で、交付金が今後減少の傾向となる。単独での方向は困難であり、住民負担にも限度があり財政改革を自らすべきであり、提示されたシミュレーションでは町民の理解が困難であり、将来合併を余儀なくされるとするとすれば、独立し吸収合併を避けるべきである。新法の時限立法を視野に入れた合併を選ぶべきと思う。

合併、単独両方を視野に入れて対象市町村と話しをし、どの条件をクリアできれば合併で、どの条件をクリアできなければ単独」とかいう基準をもっておくべし。

最後まで単独でやるという強い覚悟ならば単独を希望します。途中でやはり合併する

というならば、今すぐ合併の結論を出すべきと思う。合併するなら現実的な名寄市・風連町だと思つ。

法定協議会（名寄・風連・下川）を設立し、対等の立場で協議し、旧自治体ごとの組織機構、職員数等の軽減を図り、行政コストの効率的運用を行うことが重要と考える。

広報等により情報の提供はあるが、合併すべきか否かの判断をできるまでのものとは思えない。住民の意見を聞くことは必要と思つが、もつと噛み砕いて町としての考え（問題点等）を示すべきと思つ。じっくりと検討したものを幅広い年齢層に伝える努力を。また、任意協議会の解散までの経過も示されている

が、6市町村の枠組みが困難との判断であれば、その上に立つてどう方向性を持つか示すべきではないか。できることなら単独でと思つが、単独で進めることによつて、住民の負担となることも考えられる。そういう見通しについても、わかりやすく示すべきと思つ。現状では、意見等（考え）を求められても答えることはできない。

合併の必要性は、財政が単

独で成り立つかどうか全てだと思つ。もし赤字になるのであれば、合併は必要だと思つ。行政サービスを悪くしてまで単独町である必要は全くない。住民流出につながる可能性もある。

下川は単独で進むべきだ。交付税をあてにせず、林業、農業、観光等で町長はもつと視野を広げて検討してほしい。

**議会・行政への提言**

合併せずに単独で下川町を守っていくには役場職員が一人一人が節約し下川町株式会社の社員であると言う気持ちで前向きに取り組んでいくべきであると思つ。

まちの財政が将来危機になるから合併するという考えでは合併しないほうが良いと思つ。（優遇措置）今の行政、財政のあり方を見直すこと。これからは単独でなく周辺市町村との広域連合も重要（ごみ処理・介護保険・健康保険）町職員の意識改革がもつと必要でないかと思つます。下川町をどう思っているか？このまま合併すると将来商店街が消えてしまう

でしょう。(町職員の給料の10%位商店街の商品券での支払いを?) 私はこれから少子高齢化が進み右肩上がりの成長は望めませんので身の丈に合う(小さな町)を臨みます。町ももっと行財政改革を進めるべきです。(補助金など他)

合併について執行者、議会の無能無策を糾弾したい。時間の浪費、冗費、不毛の議論、助役の上京等、合併の会議の開始以来、良く考えてください。猛省を促したいと思います。万機公論に決すべしと言う文言をご存知ですか。最終的に決定するのは町民であると言うことです。議会特別委員会では、合併したら当町の存在感がなくなる。合併してもしなくても交付税交付金が変わらないなど当初から真摯に審議しなければならぬ事を本末転倒でありませんか。言葉を失います。

単独の条件・国の交付税が減るのは合併しても同じであるので町議員の給与、年金、人員等を民間と比較して公表し、見直すべき。町民だけが生活苦になるのはおかしい。町民が納得できる見直しをして単独で頑張つてほしい。

各種施設使用料の有料化を早急に、また、自治活動を活性化させるため努力してほしい。環境整備は自治会で行うべく公区再編を早急に実施してもらいたい。

単独が良いが、すべてに役場員が多すぎる。給料面でも考える事、中小企業から比べれば、臨職者の手当ても高すぎる。働かない人が多い。

議員報酬の削減。名誉町民の廃止。町職員の削減。電気

の削減。町民税を現行の2倍にする。公区費の見直し。高齢者の無料、町営バス、入浴券などの廃止。高年齢者の無料、町営バス、入浴券などの廃止。町の施設を有料にし(個人個人)からもう。あけぼの園、山びこ学園の民営化。町立病院院長の給料30%カット。単独に向かつて町民個人が努力をおしまないこ

と。53年間下川町に住み53歳の町民です。

単独町を望む以上は若者も高齢者も全町民一丸となって賢沢な生活を切りつめ公共物の使用料とかはもちろんのこと、スーパー食品、日用品等も郷土の買ひ物は郷土ですといった協力意識を高め心がける。また、スーパー経営者にも外に客が逃げない様、買ひ物を豊富に揃える様勉強して欲しい。公務員はリストラにはならないそうですが夫婦・親子で勤めている人は自主退職するか給料を半額にするとか見当してほしい。

役場職員の数が多すぎて、さらに優遇されていて税金のムダ使いをしている。小さい町なのに議員の数を減らすべき。もう少し税金を大切に使用して欲しい。下川町は残って欲しいけどムダを見直すべきだ。

国も道も財政難、合併すれば良くなるのでしょうか。老人は年金をたくさんもらって敬老祝い金まで、もうアメは与えないでください。(今年からなしで良い)70歳以上は無料(検診)もなし、老人も自立させましょう。町民ひとりひとり自立し、小さな町で

も心豊かに暮らせたらいよい。若者に仕事を。

やっぱり故郷である「下川町」の名前は残してもらいたい。今まで黒字なのだから単独で行けるのではないのでしょうか。もし厳しくなれば、議員の削減なども考慮すべきではないでしょうか。町民の増税なども仕方ありませんが、もっと高所得者や町のトップレベルの人々が率先して減給などの申し出をし、町へ貢献すべきでは。一般町民の私どもには、なぜ、そんなに議員が必要なのかなどわからないことがたくさんあります。お金だけの問題でもありませんが、トップがそういう姿勢を町民に見せていくことも単独でやっていくという厳しい状況において、一致団結するには必要なことでもあるのではないのでしょうか。もし合併ということになった場合を考えれば「下川町」がどういう風になるのかという具体的なことも広報などでわかりやすく教えて欲しいです。

議会議員や町の職員は本当に住民のことを考えているのだろうか。自分らの身分のことだけを思っているのではないかと疑問です。

合併してもしなくても、財政上大変なことに変わりはないので、当分の間(人口が2000人を割り込んだとき)は合併しない方がよい。その時には大幅な合理化が必要と思う。そして、町民意識の改善。特に何でもお任せでなく、自分たちでできることは自分で。また、福祉と補助事業、医療等についても大改革が必要である。

単独の場合でも今までの行政通りでは不可。絶対に町議会始め、町職員も2、3割削減するくらいでなければ町民の負担が少なくならないと思います。人口に見合った町にしてください。補助の削減は町の活力が落ちますので注意して行つてください。

経費の縮小化に努力する。今までもりも効率化(アウトソーシング)する。質の高い公共事業へのソフトなどにより、単独で長く続けて欲しい。過疎になり人口も減ると思われるので。ダムの交付金、町有林の収入などあてになるか、見通し甘いのでは。

名寄との合併だけはやめて欲しい。広域で効率上がる事務と地域でやったほうが良い事務との仕分けが必要。行

政と住民との役割分担を明確に。

議会が先に発表してからアンケートをとるのはおかしいと思う。

単独町を望むところであるが、交付金の削減や町の過疎などにより町の財政は逼迫してくる。従って行財政改革され住民サービスが従来通りできなく、削減されることになるが、町民がその痛みに耐えられるかが懸念されるので、町民の意識改革が重要である。今後の町の行財政改革の項目を（具体的）町民に示しておくことも必要でないかと思われるが如何か。

単独の場合 将来的に町民の負担増はどうなるのか（町民税、保険料等）交付金の減額はどの程度になるのか。一部事務の移行勧告を受けない場合の国のペナルティは。知事の合併勧告の拒否の場合のペナルティは。人口激減は考えられないか2500人程度。将来は職員数を減らすべき。リストラを含め考えるべきである。職員の危機意識が稀薄である。合併新法の概要を教えて欲しい。

朝日町と合併し、森林のまちづくりをさらに大きくできる。お互いの技術を共有し、経済的自立ができる。財政難が理由で合併するならば、役場の給料3割カットすべき。まずはそれから。

おそらく誰もが合併はしたくない。しかし逃げの単独は避けたい。どうしていくことが最適なのか必要に応じては合併すべき相手に必死で相談する気持ちも必要だ。単独へ進む場合、町職員が単独に進む根拠がしっかりあって欲しい。

この合併問題は 行政改革 財政改革がそもそもの課題なのに、まちづくりや地元意識などに視点を置く形で問題の本質の部分を見つめていない気がする。このような形で単独（合併できないから単独）には希望が持てないのが正直な気持ちです。町のリーダー（町長を始め他）の責任意識に疑問を感じています。

問1 2の設問は設問は恣意的、2は当分の間、単独町を望むが将来的には合併も検討する必要がある。当分の間を2、3年の間は、

をにした選択肢で聞くべき。

町議会の特別委で方向（合併せず）を示してからこのようなアンケートの実施は本末転倒。町長も（合併せず）を住民懇談会で事実上表明しているが、あと2、3年すると人口コロコロと態度を変えるのではないか。腰の定まらぬ町政は住民に迷惑をかけることになり。町職員は町長ら幹部にきちんと進言すべきである。

行財政改革を強力に推進してください。下川町を長く残すためです。

町長、助役他市町村合併問題を担当した職員は「業」として、私たち町民よりも多くの情報を得、より正しい判断をできる最もふさわしい（？）ひと握りの人達であったのではないか。その人達が口を閉ざし、町民アンケートに入るのには「町民への責任転嫁」であり、無責任としか言いようがない。「暴力的アンケート」だ。このような町で心配なのは「閉鎖・孤立」と次に「行政不信」。不満は町外流出者を増加させ、さらなる人口減少はさらに町財政を圧迫する。「住みにくい町」へと移

行することを恐れます。

職員の定数減などのスリム化を図り、財源不足をカバーするために合併して事務の効率化が不可欠である。国の方針に従って、少しでも財源確保を図るべきである。我が町の森林資源は、町の財政を補うだけの価値に乏しい。

17年3月内に合併すべき。名寄市、風連町の枠組みで、しかしベストは美深町も入れるのが。財政難は、職員数とか給料ベースにかなりの勇断が必要（単独の場合）。共稼ぎ（役場職員同士）は、直ちに肩たたきすべき。金の苦労が、生活面の苦労が分かっている。単独は必ずツケが回ってくる。議会は、本当に徹底的に議論をしたのか、議員（自身）のことしか頭にない。自分の生活。下川町から、少数精鋭で行くべき、リーダーシップのとれる人材は必ず育つ、いる。過去にも下川町の人材は、全国・全道のリーダーが生まれた（金子、井上）。下川町職員は、他市町村に合併してもリーダーとしての行政マンがいるし、育つ。人口3,000人以下の町では、高齢者と町職員

しかない町になる。年金生活者が多数を占める町では。

合併して、下川町が継続してきた町おこしをするべき（しなければ、伝統の宝の持ち腐れ）。合併しなければ、最終的に国の言いなり。まだ余裕（5年間）があるうちに下川町は合併すべき。新しい自治を創造するのが、自治体職員（生き甲斐）。これからの日本柱。

合併した方が良いとかだめだとか言っても仕事（働く所）がないのは事実です。下川町民である以上、役場の人達のが今後の対応はどうなっているのか全然見えてこない。自分は大丈夫と言っている職員が多すぎる。一般企業への対応がおろそかではないか。

町民を先導する町長の考えが伝わってこない。行政のトップはどう考えているのか？役場はそうしたいのか？町長の意志を示してほしい。

国は地方を切り捨てようとしていいるのだから、それに対抗できる「こは残すべきだ」と思わせるような地域にするのが先人の努力を引き継いだ人の責任。町民がどんな痛み

を耐えるのか、公僕がどのような努力をするのか、集団にどのような体制を働きかけ、首長が責任を持って方針を示し、担当者、町民に実行できる環境を与えるべきだと思います。その上でどこと一緒にやるかではないでしょうか。経済的に厳しいのは一緒になってもならなくても同じというなら、その中で進むべき道を「責任者」「プロ」として示すべきだと思います。勿論、首長を選んだ町民はそれを支援するはずだし、そうでなければ有効な対案を出すべき。

支援センターに入所している者は、何の話も聞いていないので、合併特例法についても、合併すればどんな特例があるのか、合併しないとどんな困ることが起きるのか分かりません。皆歩けなくて話しを聞きに行けないので、どうすればどうなるのか分かりません。センターに20名も入居しているのだから、説明に来てくれないかと思えます。自分も勉強不足な面もあるが、あらゆる可能性について、情報交換が少ないと思う。町や市のトップ同士や行政と住民間についても情報がほしい

と思いました。

町職員を4分の3にする。町議の報酬を考えるべき。町職員の定年後の再就職先日の消防団員出勤費の件町議を利用し私腹を肥やす単独できると思う。

下川町も少し考えるところがあると思います。舗装もいらない所にやったり、また色々な所に金を掛けることはどうかと思えます。下川も運動やるところから金を少しでも取ったらいと思えます。町外の所では少し金を取ってる所があります。

### まちづくりへの提言

問1 2については、道州制と今後の諸制度を考えて判断すべきものと思えます。(州の立法権・司法権を予測して) 下川の歴史と文化の上に、森と大地を世界的に考え、技術と福祉と自治のまちづくり宣言を。

将来的には合併せず。我町単独で行くべきである。町長は自信と誇りを持って舵取りを望む(小さくても輝くまちづくり)互いに(4300名の住民)、苦しみと痛みを分け合い、下川に住んで安心して

きるまちづくりに汗を流すことを望む。

将来単独町がなんとかしても難しくなった場合どうするか心配。考えを同じくする友好的な町があれば連携を深めておくことも必要でないか。(今の名寄市の考えでは反対) また、一人でも多くの方が下川町に定住、移住できる職場や環境づくりが急務では!

合併しない条件として多くの企業に来てもらう必要がありません。高齢者も大切ですが、税収の多い人にいかに下川町に来てもらうか、町民や企業の方にたくさん意見を聞いてほしいと思えます。

農業、林業、自然環境と人材の資源を生かし、産業を活性化に経済自立を図る株式会社下川町として、地域資源の活用と、高付加価値商品をつくり上げる雇用の場をつくることによつて、商工業も含めて、発展ができるまちであると思えます。

合併後の行政が大きなマインナスとならぬようなあり方を十分検討する必要がある。商業形態を検討して、中心部(現名寄市)に購買力が流出しないようにするべきである。町の公共事業が減少す

ることが無く、町内業者を優先する等の処置が必要。医療費は他市町村と大差は無いと思うが、農業者、自由業、年金受給者は他市町村に比し低所得者が多いと思われるので、国保加入者の保険税に於いては、年間所得に比較すると他市町村の同額所得者より高額と判断される面があるので合併による減額を望むという考えもあるので、町単独の場合はこの点も考慮が必要と思つ。

下川町は資源が豊富なので、色々なアイディアで豊かな町づくりができていと思えます。これから色々な研究を重ねて豊かな町づくりができるかと思えます。

下川町には下川独自の様々な商品があるが、それを町外に販売する人材がいらない。たくさんの人たちと意見を交わし、より良き人材を育てるには、もしかすると下川町のみでは難しいのかもしれない。そういったことを考えると合併を考える必要も出てくる。後に負担が残る施設づくりではなく、企業や産業が振興する街づくりを期待する。せっかくなので条例を利用できる指導と普及が必要。(予算

がないから助成制度を使わないよう職員が言っている。これでは街は良くなるらない)

### 疑問

病院などどうなるでしょうね。

我家は単独を望んでいます。が、もし合併となると、下川のジャンプ・下川の手延べめん、下川のトマトジュース(元気)などいろいろあります。名前はどうなるのでしょうか。いつまでも残してほしいですね。森林は?

合併すると色々な工事など市など大きな町が優先され益々過疎化になるのでは。

上川管内に絞らず西興部、上興部との合併も考える気持ちはないか。

将来は合併も仕方ないんでしようか? 考えてもわからなくなるばかりです。

町民の考えは反映されないと思えます。役場又は議会にて決定するでしょう。アンケートをとつても気休めでしょうね。何の意味でアンケートをとっているのか? です。反対が過半数で合併はなくなるのですか?

合併するとしたらどんな利

点があるか。広すぎないか。合併後、町村は良くなると思わない。各町村の借金は減るのか。今より増えることはないのか。

具体的にどのような合併が良いかわからない。メリット、デメリットがはっきりわからない。

単独、合併 双方での自治体予算のシミュレーション資料がないと判断できない。単独で将来的に下川の産業が成り立つのか不安

単独町及び合併後の町民一人一人のメリット、デメリットについて詳しく知りたいです。

近隣市町村長と合併についての認識の違いが当町としては余りに大きすぎる。何故ですか？

合併は必要なんですか。合併してもメリットがあるのでしょうか。

分らない。合併により今までと何が違うか、どう変わるのかよく分からないです。

何のために合併するのか？得なのか？損なのか？合併したら、この町が良くなるのか？私は下川に住んでみて、すごく良い町なので、このま

まの町でいてほしい。合併する意味が分かりません。誰が得すんの？どちらかと言えば反対かな？わかんないけど。まあ、この町が良いままの方法で。

あまり合併が何のためにするのか分からない。合併して何が変わるのか？何も変わらないのでは？

合併をするしないによって、自分達の生活にどのようなメリット、デメリットがあるのか知りたい。今までできなかったことができるようになるか、その反対とか、生活する部分で少しでも変わるところを全て知りたい。

実際に地域産業、経済の中心が名寄になっており、名寄との合併が良いのか悪いのか分からない。また、下川が衰退していくのもどうかと思う。

合併という問題は何が良く、何が悪いとか難しいところですが、町民として10年後、20年、30年と、どのようになるのかとても不安です。もし、合併しないで、町としていった場合、本当にやり繰りできるのだろうか？負担（町税）が大きくなるのか？ということところが何も変わらない

いのなら合併しない方が良いのですが、将来がどのようになるのか、途中で合併を望んだ時に受入可能なのか？が疑問。

合併した場合、どういう点が良くなるのか、良くないとことは何か、私達には伝わらない。だからどちらでも良い。

単自治 選択の場合の決意（意見書でいただいたもの一部抜粋）

下川町が単独の場合、少なくともそれなりの決意がなければならぬのは当然であり、改革の要旨を綴ってみます。

議会議員定数を見直せ 人口比・財政実態の視点、また議会活動機能から見て定数減は各委員会運営に支障があるとの話があるが、少なければ有効に機能しない訳がない。議員年金も12年以上の在職で支給されますが、町の財源から一部負担もあり、そもそもこの制度は全国的なものとはいえず、特権的で寛大な制度であると思う。現状の事態を鑑みて、一桁定数でも工夫次第である。議会運営は何ら差し支え無いと思います。こ

れまで以上に社会的な使命を果たすべく決意すべきです。

職員給与を見直せ

下川町の規模で地域特殊性もあると思いますが、他市町村と対比すると合理的再編がさらに徹底されなくてはならない。職員数を現在の5分の3に減員し民間を活用せよ。

ある市で職員53人足らずで民間を活用し大幅な改革を実行している実例もある。民間に比較すると、報酬、結果責任、待遇にあまりにも開きがありすぎ。住民サービスも最小限にして住民力を高め小さな自治体を目指す決意をせよ。

地方債の確かな精査をせよ 町の地方債残高が82億程度であるが、今後は地方債償還の増額、町の固定資産の維持費、町職員退職者手当充当の膨張、高齢者財政負担増等の要因を考えると相当の決意で対応されたい。

公共サービスの改革と住民意識を見直せ

今まで住民が町への要望が必要以上であり、自治体側も住民要望に応えすぎて全体的に予算が膨張し、住民の自立

意識を阻害し行政の対応を当然と思ひ慢心になりすぎたように思います。公共サービスの範囲は広く、予算も個別額は少額でも予算配分が多いので改善効果が大きくサービスの仕組みも同時に改め、単独を在続ならその程度は全町民が決意せよ。

すべての補助事業を見直せ 外郭団体、一部事務組合、各種組織、町の政策補助に至るすべての補助認可の基準の精査を行い、自治振興の重点施策、補助効果の高い事件はともかく、改善すべき所は即に対応して戴きたい。現状の最悪の事態のシナリオに備えて、町民が自主自立の意識に立ち正しい自治の確率を目指せ。

町の特徴ある活性化を目指せ

過去、町では過疎脱却のため企業誘致を推進し、その成果として、松澤光学、スズキ走行試験場などそれなりの成果を上げ、事業税、固定資産税等町の財源となっておりますが、今後は、現実的に誘致による活性化は無理があるように思います。過疎自治で何

を持って活性化でき得るか思いつきのまま簡単に羅列してみました

情報網を駆使して、実効性ある活性化を図る。役場内に地域振興課もあり、これを拠点として今まで以上に全国発信の営業活動の強化を図る。都市住民の要望に添った事業展開ができないか、やがて団塊世代の退職者を多数抱えるがこの人材を住民力として活用する仕組み作りはどうか。都市から過疎地へ資金の環流を計る創造を立ち上げるベンチャー組織を考えてはどうか。特徴ある集合店舗の創造と町外流出購買率を75%から50%台に減るよう、競争力と魅力ある商店再編設計は不可でしょうか。高齢者による高齢者のための事業展開をさらなる推進を計れないか。都市住民の中高齢者を住民として誘致し、町の活性化を計れないか。

気になる単独の中身と職員  
の意識（意見書でいただいた  
もの一部抜粋）

下川町のふるさとづくりの  
こだわりは、農林業振興が重  
点施策でした。

国営サンル牧場整備に始ま  
り、国営総合農地整備、国営  
農地再編整備、道営圃場整備  
事業に多額の国費を導入し、  
農業生産基盤の整備を続け  
てきました。

また、サンルダム建設、ス  
ズキ(株)自動車走行試験場建  
設、国有林取得などは、町民  
に夢と希望を与え、さらに、  
ハウスによる野菜栽培の拡  
大、堆肥生産施設の整備など、  
下川町の自立基盤が整い、元  
気になる大きな要素になっ  
ています。

しかし、気になることは、  
単独の中身であり、生産基盤  
整備に要した投資を無駄にし  
ない次の一手、高齢農家対策、  
担い手確保対策など、それを  
演出する職員の意識でありま  
す。そのために考えられる具  
体策を提案いたします。

(1)農地の有効利用のために  
全国に呼び掛けた徹底し

た新規就農者確保対策の推  
進（野菜栽培なら一戸1ha  
で十分。今後、全国に発信  
して新規就農募集を続け、  
年間5〜7戸程度、10〜15  
年間で100戸程度を確保す  
る施策を望みたい。）

野菜生産倍増運動の展  
開、団地化による生産拡大  
土木建築業者の農業生産  
新規参入促進

(2)林業、林産業振興のために  
通年雇用のための事業創  
出

地場産材（COC認証工  
場）の地消の推進  
定住促進、新規就農拡大  
による住宅建設促進

(3)担い手確保のために  
農家子弟Uターン促進制  
度の創設（役場職員でも親  
が農地を持つているなら、  
農業に転向することも考慮  
する必要あり。）

高齢野菜農家の若年化と  
生技術の指導伝授  
学校教育での野菜栽培体  
験学習の推進

(4)若者定住促進のために  
野菜栽培、林業従事に着  
目した雇用の場の確保

新規就農を容易にする農  
地流動化制度の拡充  
雇用促進制度を活用した  
住宅建設対策の推進  
建築資材現物支給制度の  
拡充

同一任命権者の下の共働  
きの解消

(5)職員の意識改革のために  
職員からアイデアを求  
め、それを実践させる仕組  
みづくり

自立のための一人一施策  
提案運動の展開  
町民に顔が見える職員像  
の確立（管理職は机にしが  
みついているは駄目。どん  
どん町民と接して、自立の  
情熱を語ってほしい。）

職員ので愛・ふれ愛・  
郷土愛”意識の検証（町長  
の選挙公約だけにとどめ  
ず、職員の意識に染み付け  
てほしい。）

議会一般質問ルールの改  
善（美深町、風連町、和寒  
町のように時間制とし、議  
論を深め、町長の具体的な  
考えを引き出す方法に改  
善。）

## 市町村合併問題に関するお問い合わせ



下川町役場 総務課 行財政改革推進室

電話：4 - 2511（内線224）

メールアドレス：gyoukaku@town.shimokawa.hokkaido.jp